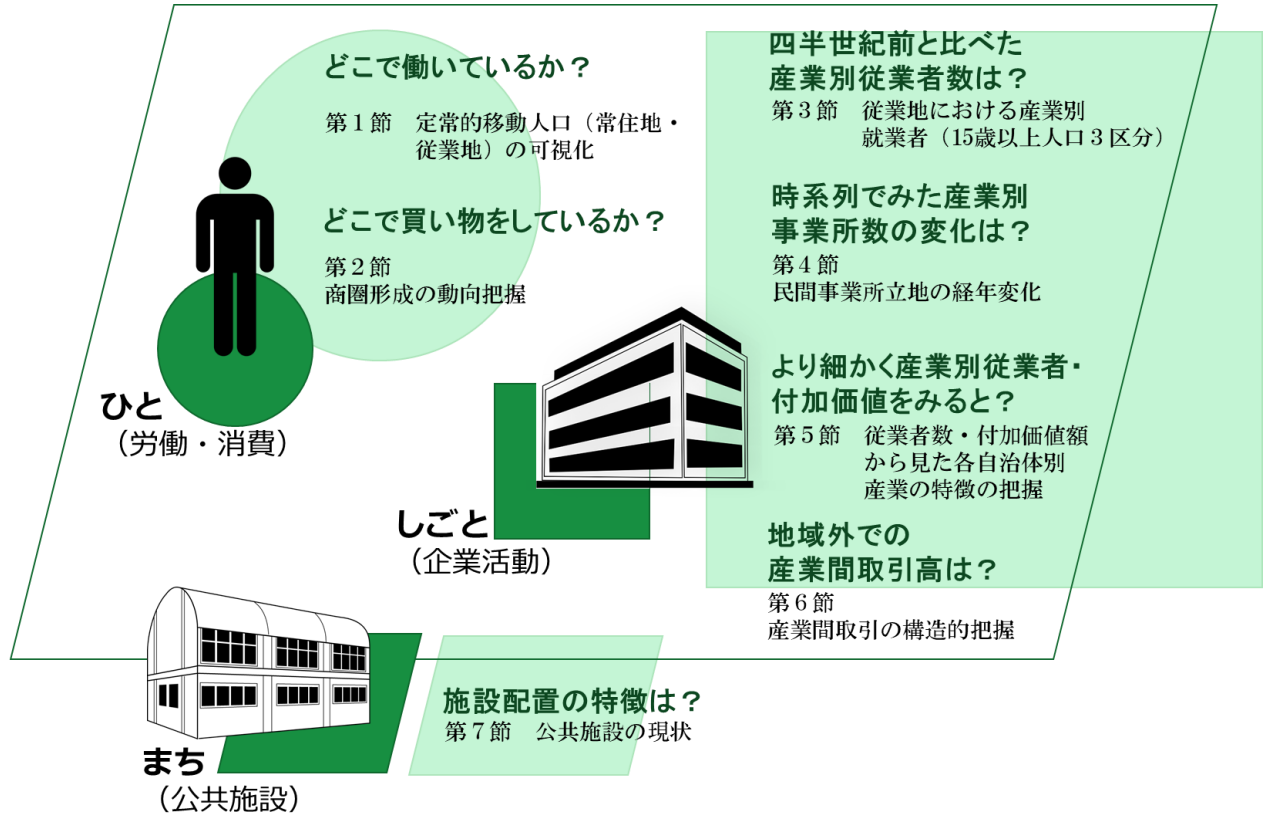


第4章 生活空間の実像（調査結果の抜粋）

◆章の構成



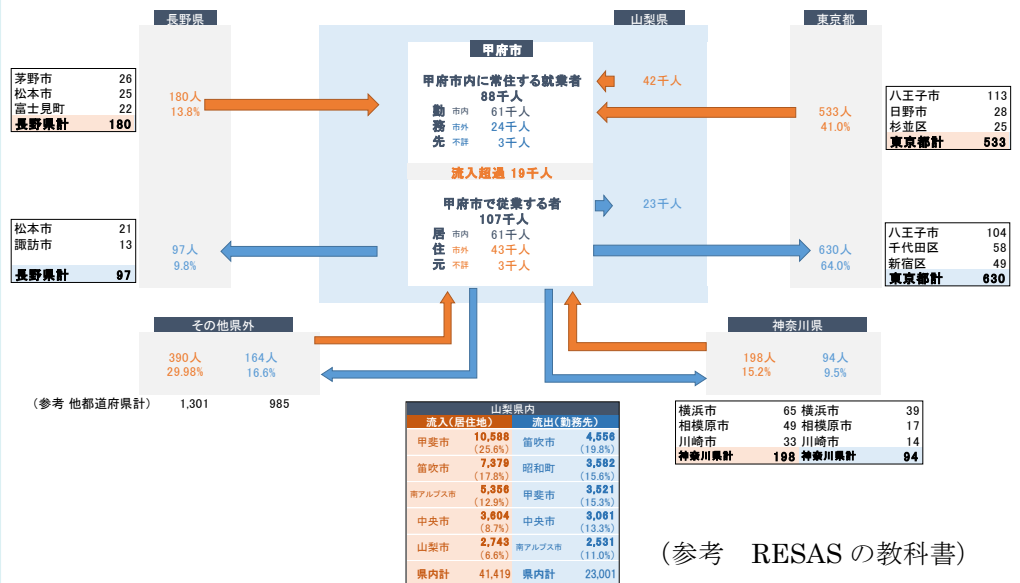
◆定常的移動人口（常住地・従業地）の可視化

【分析結果】

（分析結果抜粋 甲府市）

甲府盆地中央部に多くの人が働きに来る一方、細かく見ると、中央道沿線自治体に盆地中央部を含めた周辺自治体から通勤する様子や、少ないながらも東京方面で勤務する一定数があることが確認できた。

●甲府市の通勤における人の動き(流入の主な動向)



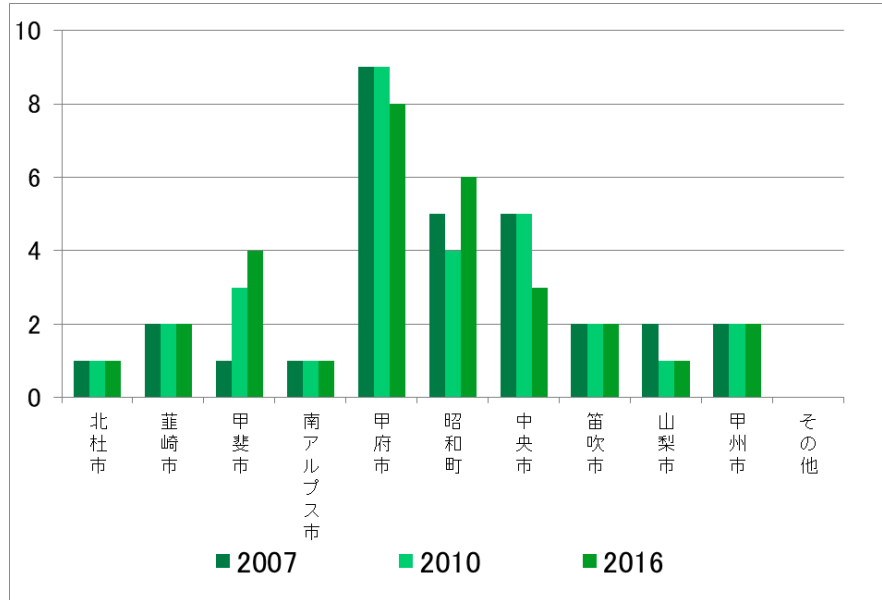
◆ 商圏形成の動向把握

【分析結果】

大まかにみると甲府市をはじめとした甲府盆地の中央にある自治体が広域商圏の中核になっている様子が確認できる。

甲府市に集中していた商圏が、昭和町、甲斐市に分散する様子や、盆地周縁部に位置する韮崎市、甲州市などの都市では従来同様周辺自治体を商圏とする様子がうかがえる。

(分析結果抜粋 下記自治体を主な買い物の場(商圏)とする自治体の数)



(資料 山梨県商工会連合会 商圏実態調査 (お買い物しらべ))

◆ 民間事業所立地の経年変化

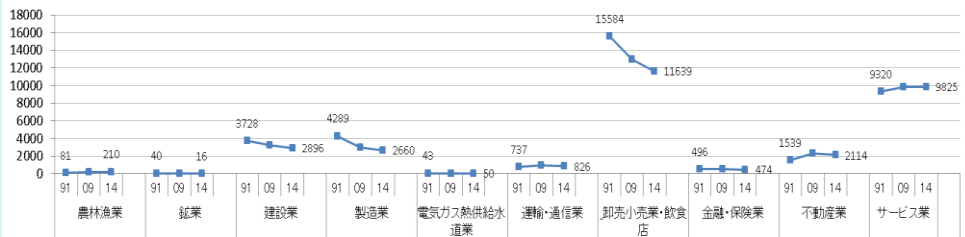
【分析結果】

事業所数は、「卸・小売」「製造」「建設」が減少した結果、全体として減少している。

しかし、「医療、福祉」「農林、漁業」「教育、学習支援業」「電気・ガス・熱供給・水道業」の事業所は増加している。

足元で事業所が増加した業種が多いのは「昭和町」「韮崎市」である。中央道沿線という点で共通しており、交通インフラに応じた各自治体の産業の発展が確認できる。

(事業所数 1991年、2009年・2014年の比較)



(足元(2009年→2014年)で事業所が増加した業種(市町村毎))

種	増減件数(2009年-2014年)											
	地域業	甲府市	山梨市	韮崎市	南アルプス市	北杜市	甲斐市	笛吹市	甲州市	中央市	昭和町	全域
農林漁業			○		○	○	○			○	○	○
鉱業、採石業、砂利採取業		○		○	○							
建設業											○	
製造業												
電気・ガス・熱供給・水道業		○	○			○						○
情報通信業				○								
運輸業、郵便業						○						
卸売業、小売業											○	
金融業、保険業										○	○	
不動産業、物品買受業										○	○	
学術研究、専門・技術サービス業				○			○	○		○	○	
宿泊業、飲食サービス業				○						○	○	
生活関連サービス業、娯楽業							○				○	
教育、学習支援業				○	○				○			○
医療、福祉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
複合サービス事業		○	○			○			○			
サービス業(他に分類されないもの)						○	○				○	
合計											○	

(資料 事業所企業統計調査報告・経済センサス)

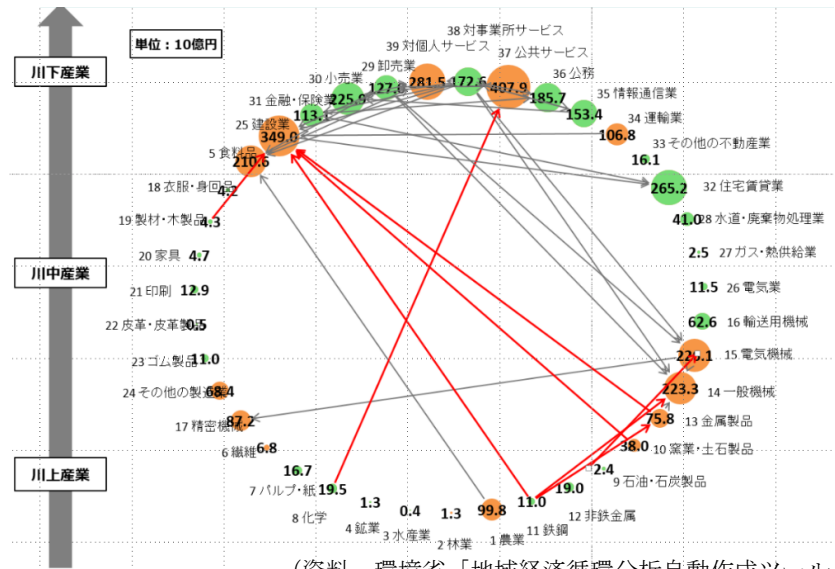
「資料：経済センサス」

◆ 産業間取引の構造的把握

【分析結果】

公共サービス業、建設業では県内の素材を活用がなされている様子や機械産業が域外から稼いでいる様子、域内のサービス業の間での相互の取引高が高くなっている様子が確認できた。

(産業間取引構造図)



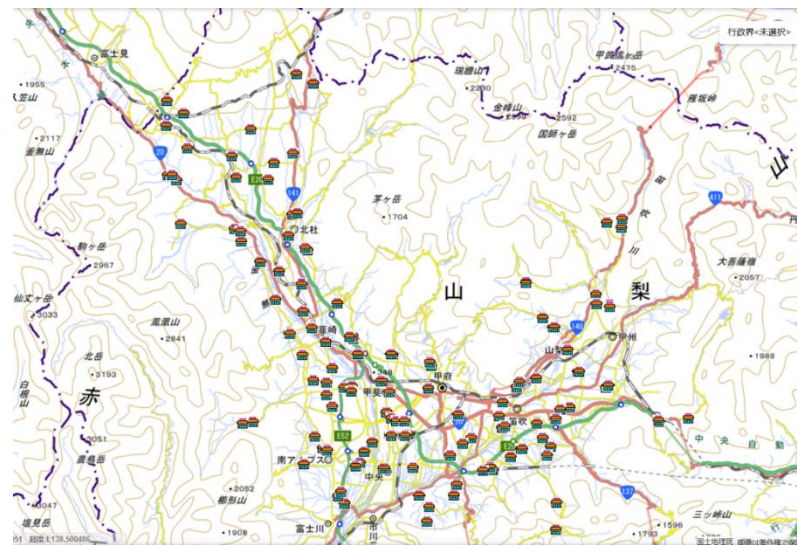
(資料 環境省「地域経済循環分析自動作成ツール」)

◆ 公共施設配置

【分析結果】

旧学校施設の有効利用等、域内のバランスに配慮する形で施設整備が進められてきたことがうかがえた。

(分析結果抜粋 体育施設の配置状況)



◆ 今後に向けて

以上の分析を通じ、地域内の役割分担、地勢を生かした経済活動の様子を大括りながら描出してすることができ、得られた結果は概ね私たちが普段感じる当地の地勢・地域性についての肌感覚に近いものであった。

本成果に立って、地域を取り巻く方々にとって納得感があり、かつ、具体的な動きにつながるような地域像の描出について考察を進めたい。